

# 令和7年度 小学部 指導の方針と重点

## 教育目標

### 校訓 「強く 明るく 仲良く」

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな教育を行うことにより、一人一人の可能性を最大限に伸ばす。さらに、「強く 明るく 仲良く」生きようとする意欲を高め、一人一人の自立と社会参加を目指し、基礎的・基本的な力を身に付け、「生きる力」を育む。

## 指導の方針

#### 【願う姿】

- ・生活リズムを整え、元気に生活する。
- ・いろいろなことに興味・関心をもち、すすんで活動する。
- ・思いやりの心をもち、友達と一緒に仲良く遊ぶ。

- ・家庭や地域との連携をはかり、社会生活に必要な基礎的な生活習慣の形成を図る。
- ・個々の実態を的確に捉え、様々な活動の中で、「楽しい」「やりたい」と期待がもてる場面を設定する。
- ・自己の課題に見通しをもち、「わかる」と感じられる指導・支援をする。
- ・自分の思いや気持ちを周囲の人に伝え、選び、決めることが「できる」状況をつくる。

## 指導の重点

#### 1 見通しがもてる分かりやすい授業・生活づくり

- (1) 一人一人の児童の発達段階や学習状況等の的確な実態把握の下、教育的ニーズを踏まえ、授業の指導内容・方法や教材・教具の工夫、授業評価を行い、授業改善に取り組む。
- (2) 児童が主体的に活動することができる場面・環境をつくる。
- (3) 言語に関する能力を育むために、授業だけでなく学校生活全般において、言語環境が豊かになるよう働きかける。

#### 2 健康な体づくり

- (1) すすんで体を動かすことに取り組む意欲や態度を育てる。
- (2) 給食等、栄養バランスのとれた食事を楽しく食べることができるように、一人一人の児童の特性に応じて、家庭と連携を図りながら指導・支援をする。
- (3) 医療的ケアの充実を目指し、保護者や主治医、指導医との連携を図る。
- (4) 危機意識をもち、環境を整えることで、一人一人の児童の安全・安心の確保に努め、事故を未然に防止する。
- (5) ルールを守る、安全に行動する、病気の際は静かに過ごすなど、自分の身体を大切にする気持ちが育つように、授業だけでなく学校生活全般において、働きかける。

#### 3 友達との温かい人間関係づくり

- (1) 友達と仲良く遊び、集団活動に参加・適応できるように指導・支援を工夫する。
- (2) 温かく、好ましい人間関係を育てるために、近隣小学校との交流及び共同学習や居住地校交流、学部内での学年間交流を推進する。

#### 4 保護者との信頼関係づくり

- (1) 一人一人の児童の教育的ニーズを把握し、保護者や福祉、医療等の関係機関との連携を踏まえた個別の教育支援計画を作成・活用し、きめ細かな指導・支援を推進する。
- (2) 保護者との連携を密にするために、連絡帳や学年通信等で、必要な情報を提供し、共通理解を深める。保護者の要望や意見等があった場合は、迅速かつ丁寧に対応する体制をとる。
- (3) 家庭で児童を見失うなど重大な事態になった時は、警察・学校に早急に連絡していただき児童の安全を図るとともに、早期対応の大切さを啓発していく。